

◆◆◆キトリ◆◆◆

■「校長先生、昼休み、キトリしよう！」

昨日朝の校門。子どもたちを迎えているとき、
登校してきた3年生のTさんからそんなお誘いをうけました。

「キトリ?」「そう、キトリ。昼休み、一緒にしよう！」
そのとき私は意味がよく分からず、あいまいな返事をしていました。
そして昼休み。

私のところにやってきたTさん、「さあ校長先生、キトリ行こう」

■「どこに行くのかな?何をするのかな?」

まだ意味がわかっていない私は、一輪車を押して運動場をずんずん進むTさんのあとをついていきました。

ほどなく運動場の端、樹木が茂っているところで
Tさんは足を止めました。

みると、そこら中に小枝がちらばっています。
先日の台風で折れて飛ばされたものでしょう。
Tさんはそれを拾って一輪車にのせていきます。
なるほど「木取り」、ね。
ようやく意味が分かりました。



■「校長先生も拾ってください」

感心してみていた私にTさん。「ごめん、ごめん」
一緒に拾っていると、それに気付いた
周りの子どもたちも小枝を拾い始めます。
いつの間にか、事務室の田中さんが来られて、
枝や落ち葉を拾っては一輪車へ。

聞くと、前日もTさんと一緒に「キトリ」をしたそう。

「昨日はもっとたくさんあったね」「うん、あの太いやつどうしたの?」「それはね…」
昼休みが終わるころ、私は心がとっても温かくなっていました。